

科目	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	
	事業名	地籍調査費（土木総務費）					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	1,448 円 (△362,820 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,448 円
主管	市民一人当たりの決算額	0 円 (一般財源等ベース 0 円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的						
	<p>国土調査法に基づき、毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成することにより、土地に関する基礎的な情報の整備を図る。</p>						
	2 事業内容						
<p>蓮花寺地区及び長畑地区の地籍調査を進めるため、一筆地調査及び地籍測定の結果に基づき作成した地籍簿及び地籍図を国及び県に提出し、認証を受けて法務局に提出する。</p>							
(1) 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		役務費	通信運搬費		1,448 円		
3 事業成果							
<p>一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界の調査及び面積に関する測量を行い、精度の高い地籍図と地籍簿を作成し、土地における地籍を明確にすることで課税の適正化を図るとともに、地震など災害時の円滑な復旧事業にも寄与することができた。</p>							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路維持費	
	事業名	道路維持費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	303,872,026 円 (△8,084,292 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		28,863,000 円	0 円	0 円	23,000,000 円	0 円	252,009,026 円
主管	市民一人当たり の決算額	4,408 円 (一般財源等ベース 3,656 円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 道路や歩道がいつでも安心、快適に利用できるよう、適正に維持管理する。						
	2 事業内容						
	(1) 道路ストック点検費						
	市が管理する道路の利用者及び第三者の被害を防止し、効率的に修繕工事を行うため、点検を実施した上で修繕計画を策定した。						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	委託料		舗装及び道路照明の点検業務		22,554,400 円		
	(2) 道路維持管理費						
	ア 施設の点検						
	道路利用者の安全な通行を確保するため、道路用排水ポンプ施設などの点検を行った。						
イ 主な支出科目							
区 分		内 容		事業費			
需用費		電気、水道		1,076,433 円			
委託料		清掃業務、排水施設保守業務及び官民査定調査業務		34,406,504 円			
(3) 鉄道駅自由通路維持管理費							
J R 枇杷島駅東西自由通路の維持管理などを行った。							
ア 主な支出科目							
区 分		内 容		事業費			
需用費		電気、水道及び修繕料		4,134,729 円			
委託料		清掃業務、警備業務及び保守点検業務		8,953,965 円			
(4) 道路維持補修費							
過去に整備された路線を維持するため、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づく修繕工事を行った。							
また、愛知県が実施する枇杷島陸橋の架け替え事業に併せて雨水管の整備を行った。							

ア 支出科目

区 分	内 容	事業費
委託料	測量及び設計業務	15,198,700 円
	枇杷島陸橋の架け替えに伴う雨水管整備（県との協定に基づく工事委託）	24,587,200 円
工事請負費	道路維持修繕工事（一般修繕分）、交通安全施設工事、道路ストック点検結果を踏まえた道路維持管理計画に基づく道路維持修繕工事	186,338,852 円
原材料費	維持補修用材料	3,778,837 円

3 事業成果

道路や歩道を適切に管理することにより、年間を通じて利用者の安全な通行を維持し、便利で快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。

土

木

課

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路維持費	
	事業名	街路灯費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	58,240,523 円 (+4,615,905 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	58,240,523 円
主管	市民一人当たりの決算額	845 円 (一般財源等ベース 845 円)		単位決算額			
土木課	1 事業目的 夜間における交通安全及び犯罪の防止を図るため、街路灯（防犯灯を含む。）の設置及び管理を行い、安全で安心なまちづくりを目指す。						
	2 事業内容						
	(1) 街路灯管理費 夜間通行の安全確保及び犯罪防止のため、街路灯の管理及び修繕を行った。また、街路灯LED化一括リースに伴う賃借料を支払った。						
	ア 修繕箇所 40か所						
	イ 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		電気		25,874,492 円		
			修繕料		1,131,102 円		
	使用料及び賃借料		リース料		26,276,400 円		
	(2) 街路灯整備費 地元より要望があった箇所について、夜間通行の安全確保並びに犯罪防止のため、街路灯の新設工事を行った。 また、既設の街路灯については、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づき、単独支柱の更新を行った。						
ア 新設・取替内容							
区 分		内 容		本 数			
新設		街路灯（LED）設置		18か所			
取替		点検に基づく支柱修繕		30か所			
イ 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
工事請負費		街路灯（LED電柱共架含む）新設及び支柱取替工事		4,958,529 円			
3 事業成果 市民の夜間通行時の安全確保及び犯罪の防止が図られ、安全で安心なまちづくりに寄与することができた。							

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	02 道路維持費	
	事業名	繰越明許費繰越事業							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	55,500,000円 (-)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0円	0円	0円	50,000,000円	5,500,000円	0円		
主管	市民一人当たりの決算額	805円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額					
土 木 課	1 事業目的 愛知県が実施する枇杷島陸橋架け替え及び街路整備事業にあわせて、市管理の雨水管を廃止し排水計画に応じた雨水管の新設を行い、道路や歩道がいつでも安心、快適に利用できるよう、適正に維持管理する。								
	2 事業内容 愛知県が実施する枇杷島陸橋の架け替え事業に併せて雨水管の整備を行った。								
	(1) 支出科目								
		区 分	内 容				事業費		
		委託料	枇杷島陸橋の架け替えに伴う雨水管整備（県との協定に基づく工事委託）				55,500,000円		
3 事業成果 愛知県が実施する枇杷島陸橋の架け替え及び街路整備事業にあわせて雨水管を整備することにより、利用者の安全な通行を維持し、便利で快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。									

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	03 道路新設改良費	
	事業名	道路改良費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	52,432,713 円 (△16,506,841 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		22,120,000 円	0 円	0 円	0 円	7,926,713 円	22,386,000 円
主管	市民一人当たり の決算額	761 円 (一般財源等ベース 325 円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 地域住民の利便性向上を図るため、道路改良を行うことにより、市道の機能を充実し、道路の安全性に配慮した道路づくりに努める。						
	2 事業内容						
	(1) 市道西田中蓮池線等整備費 歩道の機能を充実するため、水路を覆蓋化する工事を行った。						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	工事請負費		歩道設置工事		44,506,000 円		
	(2) 市道流新田1号線等整備費 水場川改修事業に伴い、既存市道の移設に必要な用地を購入した。						
	ア 主な支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	役務費		登記手数料		404,613 円		
公有財産購入費		道路用地購入		7,520,100 円			
3 事業成果 市街地の発展のため、生活環境の向上を目指して、道路利用者が満足する道路整備を行うことにより、便利で快適に暮らせるまちづくりに貢献することができた。							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	03 道路新設改良費					
	事業名	繰越明許費繰越事業									
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳									
	21,055,100円 (-)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等				
		0円	0円	0円	0円	21,055,100円	0円				
主管	市民一人当たりの決算額	305円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額							
土木課	1 事業目的 老朽化した大手橋アンダーの路面冠水表示板及び関連機器の更新を行い、道路をいつでも安心、快適に利用できるよう、適切に維持管理する。										
	2 事業内容										
	(1) アンダーパス冠水対策費 路面冠水表示板、制御機（電話応答装置）及び水位検知器（電極式）超音波センサを取替えた。										
	ア 支出科目										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>路面冠水表示板、制御機（電話応答装置）及び水位検知器（電極式）超音波センサの取替え</td> <td>21,055,100円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	工事請負費	路面冠水表示板、制御機（電話応答装置）及び水位検知器（電極式）超音波センサの取替え
区 分	内 容	事業費									
工事請負費	路面冠水表示板、制御機（電話応答装置）及び水位検知器（電極式）超音波センサの取替え	21,055,100円									
3 事業成果 路面冠水表示板などを適切に管理することにより、利用者の安全な通行を維持し、便利で快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。											

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	04 橋梁維持費	
	事業名	橋梁維持費							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	39,525,945 円 (+24,926,360 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		21,739,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	17,786,945 円		
主管	市民一人当たりの決算額	573 円 (一般財源等ベース 258 円)		単位決算額					
土 木 課	1 事業目的								
	市が管理する橋梁について、橋梁本体部材及び橋梁附属物の損傷状態を把握するために行った点検の結果と修繕計画に基づき、修繕及び改築更新等を行うことにより、常に良好で円滑な橋梁機能を保持する。								
	2 事業内容								
	(1) 橋梁点検費								
	橋梁の効率的な維持管理を推進するため、道路法に基づく定期点検を計画した。								
	ア 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	委託料			橋梁定期点検業務			6,225,945 円		
	(2) 橋梁維持補修費								
	定期点検の結果を踏まえた橋梁長寿命化計画に基づき橋梁補修工事を行った。								
ア 支出科目									
区 分			内 容			事業費			
工事請負費			新川小橋補修工事（右岸橋脚）			33,300,000 円			
3 事業成果									
橋梁の適正な管理と橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の補修を行うことにより、常に良好で円滑な橋梁機能を保持するとともに、橋梁に係る維持管理コストの縮減や平準化を行うことができた。									

科目	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費		
	事業名	五条川ふるさとの川管理費（河川費）								
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳								
	7,350,420 円 (±0 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等			
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	7,350,420 円			
主管	市民一人当たり の決算額	107 円 (一般財源等ベース 107 円)			単位決算額					
土 木 課	1 事業目的 国からふるさとの川モデル河川に指定を受けた五条川について、良好な水辺空間の形成を図るため、適正に維持管理を行う。									
	2 事業内容 五条川堤防の良好な景観を維持するための管理などを行った。									
	(1) 支出科目									
	区 分		内 容				事業費			
	委託料		緑地管理業務				4,125,000 円			
堤防草刈業務				3,225,420 円						
3 事業成果 河川の景観を維持することにより、五条川の自然な環境特性を活かした良好な水辺空間の形成を図ることができた。										

科目	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費	
	事業名	雨水貯留施設費							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	4,894,274 円 (△231,625 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0 円	0 円	0 円	0 円	196,370 円	4,697,904 円		
主管	市民一人当たり の決算額	71 円 (一般財源等ベース 68 円)			単位決算額				
土 木 課	1 事業目的 新川流域の都市化の進展に伴う保水、遊水機能の維持、確保を計画的に推進するため、雨水貯留施設の管理を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。								
	2 事業内容								
	(1) 雨水貯留施設管理費 雨水貯留施設を維持、確保するための管理を行った。								
	ア 主な支出科目								
	区分			内 容			事業費		
需用費			電気			1,569,998 円			
委託料			清掃業務、保守点検業務			3,198,140 円			
3 事業成果 集中豪雨時の浸水対策として、雨水貯留施設を適正に管理することにより、水害に強い安全・安心なまちづくりに貢献することができた。									

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	都市計画事務費（都市計画費）					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	30,302,869 円 (+19,088,579 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		284,123 円	232,169 円	0 円	0 円	74,600 円	29,711,977 円
主管	市民一人当たりの決算額	440 円 (一般財源等ベース 431 円)		単位決算額			
都市 計 画 課	1 事業目的						
	都市環境の保全及び土地利用の円滑な促進などを図るため、都市計画基礎調査をはじめ、都市計画の推進に必要な図書を作成するために必要な事務を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 都市計画基礎調査						
	都市計画法の規定に基づき、都市計画に係る基礎的なデータを収集することを目的に業務を実施した。また、防災まちづくり調査の基礎資料作成を実施した。						
	(2) 用途地域等変更図書作成業務						
	今後予想されるリニア中央新幹線の整備や地域ニーズに対応するため、将来都市計画として対応すべき問題点や課題を整理し、用途地域の変更等について検討し、関係機関協議資料や法手続きに必要な図書作成を目的に業務を実施した。						
	(3) 都市計画基本図修正業務						
	都市計画業務を行う上で必要となる都市計画基本図について、空中写真測量を用いて修正するとともに、関連する都市計画縦覧図書等の修正を行った。また、公開型 GIS サービスを導入したことにより、利便性を向上し、窓口サービスの充実を図った。						
	(4) 主な支出科目						
		区 分	内 容		事業費		
委託料		都市計画基礎調査		8,580,000 円			
		用途地域変更図書等作成業務		5,060,000 円			
		都市計画基本図修正業務		16,430,700 円			
3 事業成果							
都市計画基礎調査を実施することにより、都市の現況や密集市街地の解消に向けた計画づくりに必要となる基礎データを収集することができた。							
また、用途地域等変更図書作成業務により、今後必要となる用途地域の変更について必要な検討資料を作成することができた。							
都市計画基本図修正業務については、公開型 GIS サービスを導入したことにより、利便性を向上し、窓口サービスの充実を図ることができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	民間木造住宅耐震化促進費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	3,148,200円 (△1,155,374円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		2,352,800円	0円	0円	0円	0円	795,400円
主管	市民一人当たりの決算額	46円 (一般財源等ベース 12円)		単位決算額	196,763円 (補助件数 16件)		
都市 計 画 課	1 事業目的						
	南海トラフ地震の発生が懸念されるなか、地震発生時における木造住宅の倒壊などによる被害を軽減するため、旧基準木造住宅（建築基準法が改正された昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅）の耐震診断及び耐震改修などに要する費用を補助することにより、地震対策への取組みを促進する。						
	2 事業内容						
	(1) 民間木造住宅耐震化促進事務費						
	ア 主な支出科目						
			区 分	内 容	事業費		
			委託料	耐震改修無料相談会相談員業務	29,000円		
	(2) 民間木造住宅耐震診断費						
	ア 支出科目						
			区 分	内 容	事業費	補助件数	
		委託料	民間木造住宅耐震診断業務	519,200円	11件		
(3) 民間木造住宅耐震改修費補助金							
ア 支出科目							
		区 分	内 容	事業費	補助件数		
		負担金、補助及び交付金	民間木造住宅耐震改修費補助金	2,000,000円	2件		
(4) 民間木造住宅除却費補助金							
ア 支出科目							
		区 分	内 容	事業費	補助件数		
		負担金、補助及び交付金	民間木造住宅除却費補助金	600,000円	3件		
3 事業成果							
地震に対しての住宅強度が判定されることにより、耐震化に対する意識の向上につなげることができた。また、木造住宅の耐震補強や強度不足の住宅の除却が実施されることにより、住宅倒壊の恐れが減少し、死傷者発生への抑制、避難通路の確保など、減災対策への取組みを促進することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	空家解体促進費補助金（空家等対策費）					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	1,800,000 円 (△400,000 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		1,350,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	450,000 円
主管	市民一人当たり の決算額	26 円 (一般財源等ベース 7 円)		単位決算額	200,000 円 (補助件数 9 件)		
都 市 計 画 課	1 事業目的						
	老朽化による危険な空家などの解消により、地域の安全・安心と良好な生活環境を確保するため、倒壊又は建築材などの飛散のおそれのある危険な空家などの解体にかかる費用を支援する。						
	2 事業内容						
	不良住宅となっている空家の解体工事を実施する空家所有者に対し、補助金を交付した。						
	(1) 補助内容						
	ア 補助件数 9 戸						
	イ 補助対象 空家 1 棟の解体工事にかかる費用						
	ウ 補助限度額 200,000 円						
	(2) 補助条件						
	ア 市内に存する 1 年以上使用されていない空家であること。						
イ 木造であること。							
ウ 住宅地区改良法第 2 条第 4 項に規定する不良住宅であること。							
エ 所有権以外の権利が設定されていない空家であること。							
(3) 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		負担金、補助及び交付金	空家解体促進費補助金		1,800,000 円		
3 事業成果							
危険性を有した空家などを解体することにより、平時からの安全確保及び地震発生時における倒壊などによる災害を防止することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	民間ブロック塀等撤去費補助金（民間ブロック塀等撤去費）					
	決算額 （前年度比）	財 源 内 訳					
	409,000 円 （△213,000 円）	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		305,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	104,000 円
主管	市民一人当たりの決算額	6 円 （一般財源等ベース 2 円）		単位決算額	81,800 円 （補助件数 5 件）		
都市 計 画 課	1 事業目的						
	南海トラフ地震の発生が懸念される中、地震発生時におけるブロック塀などの倒壊による被害を軽減するため、道路などに面するブロック塀などの撤去を行うものに対し、撤去にかかる費用を支援する。						
	2 事業内容						
	撤去に要した経費、若しくは1m当たり10,000円を乗じた額のいずれか少ない方の2分の1を補助（上限20万円）した。						
	(1) 補助件数						
		件 数	ブロック塀延長				
		5 件	82.23m				
(2) 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	民間ブロック塀等撤去費補助金	409,000 円			
3 事業成果							
民間のブロック塀などの撤去に対し、撤去費用を支援することで、危険なブロック塀などの撤去を促し、もって災害時の被害の軽減や避難路の確保に努めることができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	雨水貯留浸透施設設置補助金（小規模雨水貯留施設費）					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	77,900 円 (+43,600 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	77,900 円
主管	市民一人当たりの決算額	1 円 (一般財源等ベース 1 円)		単位決算額	11,129 円 (補助件数 7 件)		
都市 計 画 課	1 事業目的	本市における雨水の流出抑制と水環境の育成を図るため、住宅等の敷地に雨水貯留浸透施設を設置する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、雨水による浸水及び冠水被害の減少につなげる。					
	2 事業内容	雨水貯留施設を設置及び雨水浸透枳を住宅などの敷地に設置した市税に滞納のない者に対し、補助金を交付した。					
	(1) 雨水貯留施設	1000以上の貯留容量の貯留槽を住宅等の敷地に設置した者に、1000当たり7,000円（上限1,0000、7万円）を補助した。					
	ア 設置数量						
		補助単価	件数	数量			
		7,000 円/1000	7 件	1,1350			
	イ 支出科目						
		区分	内容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水貯留槽）	77,900 円			
	3 事業成果	雨水貯留浸透施設を設置することにより、大雨時の雨水流出抑制、河川や排水機場への負荷軽減、雨水の有効活用などが図れ、防災や環境に対する意識を高めることができた。					

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	都市緑化推進事業補助金（都市緑化推進費）					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	3,388,000円 (+296,000円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		3,388,000円	0円	0円	0円	0円	0円
主管	市民一人当たり の決算額	49円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額	1,694,000円 (補助件数 2件)		
都市 計画 課	1 事業目的						
	市民及び事業者が実施する緑化への取組みに対し、都市緑化推進事業補助金を交付することにより、身近な緑の質を高め、市全体の緑化を推進する。						
	2 事業内容						
	清須市都市緑化推進事業補助金交付要綱の規定により、補助金を交付した。						
	(1) 市民参加緑づくり事業						
	清洲中学校の敷地内において、整備されてから年月が経過し荒廃した緑地について、生徒らが日常的に緑に触れ合える場所として再生するため花壇を整備した。						
	ア 参加生徒・保護者 50人						
	イ 支出科目						
	区 分		内 容			事業費	
	負担金、補助及び交付金		清洲中学校PTAによる花壇整備事業			2,695,000円	
(2) 緑の街並み推進事業							
個人住宅敷地内において、緑化面積76㎡に芝張りを行い清須市内の緑化を推進した。							
ア 補助件数 1件							
イ 支出科目							
区 分		内 容			事業費		
負担金、補助及び交付金		個人住宅の緑化整備			693,000円		
3 事業成果							
市民参加緑づくり事業により、生徒が緑の大切さを考えるきっかけとなり、四季折々の花に触れ合える憩いの場所として緑化を推進することができた。							
また、個人住宅の敷地内において緑の街並み推進事業を活用することにより、緑化を推進することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	
	事業名	清洲駅前土地区画整理費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	131,928,182 円 (△236,640,202 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		32,600,000 円	0 円	0 円	78,000,000 円	0 円	21,328,182 円
主管	市民一人当たり の決算額	1,914 円 (一般財源等ベース 309 円)		単位決算額			
都市 計 画 課	1 事業目的						
	<p>組合施行による土地区画整理事業において、低未利用地の計画的な面的整備を行い、道路、公園及び雨水調整池などの公共施設の整備と土地利用の効率化を促進するため、市助成金及び都市計画道路整備の負担金を支出し、快適で良好な市街地整備を図る。</p>						
	2 事業内容						
	(1) 土地区画整理事業補助金						
	<p>清須市土地区画整理事業補助要綱に基づき、道路、排水路の整備及び建物移転補償などに対して、公共施設の整備を行うための費用として事業計画に基づき交付した。</p>						
(2) 道路整備事業負担金							
<p>清洲駅前土地区画整理事業地内に計画されている都市計画道路清洲駅前線などを区画整理事業に併せて整備するため、国庫補助金を除いた整備費用を愛知県との協定に基づき負担した。</p>							
(3) 主な支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		負担金、補助及び交付金	清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金		97,800,000 円		
			道路整備事業負担金		34,050,000 円		
3 事業成果							
<p>土地区画整理事業を実施する組合へ補助金を交付するとともに、清洲駅前土地区画整理事業地内にある都市計画道路を整備するための負担金を県へ支出することにより、組合事業の推進が図られ、駅前にふさわしい都市施設の整備、土地利用増進及び有効活用並びに災害に強いまちづくりのための事業推進に寄与することができた。</p>							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	
	事業名	新清洲駅北土地区画整理費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	492,124,467円 (△269,635,441円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		117,710,000円	7,400円	0円	121,000,000円	0円	253,407,067円
主管	市民一人当たり の決算額	7,139円 (一般財源等ベース 3,676円)		単位決算額			
新清洲駅 周辺まちづくり課	1 事業目的						
	<p>交流拠点（第2次総合計画）及び都市拠点（都市計画マスタープラン）として位置付けられている新清洲駅北土地区画整理事業について、市施行で実施することにより、名鉄新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、建物等補償調査、建物移転補償、実施設計、整備工事などを行う。</p> <p>また、この事業と併せて実施する鉄道高架事業のための鉄道の仮線、仮駅舎などにかかる用地を優先的に確保するため、建物などの移転補償を行う。</p>						
	2 事業内容						
	(1) 事業用地管理費						
	取得した減価補償用地及び建物除却後の使用収益停止用地の管理を行った。						
	(2) 土地区画整理事業費						
	整備工事、使用収益の開始及び移転補償などを行った。						
	また、鉄道の仮線用地、仮駅舎用地等を確保する必要があることから、早期に対象となる区域の建物等移転補償を行った。						
	ア 事業進捗状況						
			区分	全体計画	実績 (令和4年度末)	進捗率	
		使用開始宅地面積	34,759.56㎡	20,576.30㎡	59.2%		
		供用開始道路延長	1,706.86m	762.71m	44.7%		
		移転戸数	55戸	54戸	98.2%		
(3) 主な支出科目							
		区分	内容	事業費			
		役務費	不動産鑑定、登記手数料	1,776,071円			
		委託料	権利者等調整、仮換地指定（使用収益開始）通知書作成、整備工事など（都市再生機構）	217,239,949円			
		工事請負費	施行者管理地に係る防草等維持補修工事	260,700円			
		原材料費	維持補修用材料	98,945円			
		補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費	272,321,086円			

3 事業成果

整備工事を行うことで、仮換地の使用収益開始をすることができ、加えて、建物等移転補償を行うことで、翌年度以降の整備工事を推進することができた。

また、鉄道の仮線に必要な用地の建物等移転補償を行うことで、鉄道高架事業に必要な用地を早期に確保することができた。

新清洲駅周辺まちづくり課

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	
	事業名	一場東部開発費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	26,114,000 円 (皆増)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		8,000,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	18,114,000 円
主管	市民一人当たりの決算額	379 円 (一般財源等ベース 263 円)		単位決算額			
都 市 計 画 課	1 事業目的 一場東部地区周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、令和9年度(予定)の土地区画整理組合設立認可に向けた支援を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 計画業務 基本構想・施行地区・都市施設の配置等について関係機関と協議を行った。						
	(2) 用地測量業務 施行地区内の地形・建物の調査を行った。						
	(3) 施行場所 一場御園、一場弓町、一場福島、春日河原及び春日杵前の各一部						
	(4) 支出科目						
	区 分		内 容			事業費	
	委託料		計画業務			12,012,000 円	
			用地測量業務			14,102,000 円	
	3 事業成果 計画業務及び用地測量業務を行い、区画整理組合設立に向けた検討、準備を行うことで、健全なまちづくりを推進することができた。						

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	02 土地区画整理費	
	事業名	土地区画整理事業補助金（繰越明許費繰越事業）							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	64,050,000 円 (-)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		21,350,000 円	0 円	0 円	26,000,000 円	16,700,000 円	0 円		
主管	市民一人当たりの決算額	929 円 (一般財源等ベース 0 円)		単位決算額					
都 市 計 画 課	1 事業目的								
	組合施行による土地区画整理事業において、低未利用地の計画的な面的整備を行い、道路、公園及び雨水調整池などの公共施設の整備と土地利用の効率化を促進するため、市助成金を支出し、快適で良好な市街地整備を図る。								
	2 事業内容								
	(1) 土地区画整理事業補助金								
清須市土地区画整理事業補助要綱に基づき、道路、排水路の整備及び建物移転補償などに対して、公共施設の整備を行うための費用として事業計画に基づき交付した。									
(2) 支出科目									
		区 分	内 容			事業費			
		負担金、補助及び交付金	清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金			64,050,000 円			
3 事業成果									
土地区画整理事業を実施する組合へ補助金を交付することにより組合事業の推進が図られ、駅前にふさわしい都市施設の整備、土地の利用増進及び有効活用並びに災害に強いまちづくりのための事業推進に寄与することができた。									

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費								
	事業名	土地区画整理事業費（繰越明許費繰越事業）												
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳												
	404,271,902円 (-)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等							
		105,882,000円	0円	0円	95,000,000円	203,389,902円	0円							
主管	市民一人当たり の決算額	5,864円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額										
新清洲駅周辺まちづくり課	1 事業目的													
	<p>交流拠点（第2次総合計画）及び都市拠点（都市計画マスタープラン）として位置付けられている新清洲駅北土地区画整理事業について、市施行で実施することにより、名鉄新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、建物等補償調査、建物移転補償、実施設計、整備工事などを行う。</p> <p>また、この事業と併せて実施する鉄道高架事業のための鉄道の仮線、仮駅舎などにかかる用地を優先的に確保するため、建物などの移転補償を行う。</p>													
	2 事業内容													
	<p>整備工事、建物などの補償調査及び移転補償などを行った。</p> <p>(1) 支出科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>確定測量、建物等補償調査、仮換地指定（使用収益開始）通知書作成、整備工事など（都市再生機構）</td> <td>248,085,264円</td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>建物等移転補償費</td> <td>156,186,638円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	委託料	確定測量、建物等補償調査、仮換地指定（使用収益開始）通知書作成、整備工事など（都市再生機構）	248,085,264円	補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費
区 分	内 容	事業費												
委託料	確定測量、建物等補償調査、仮換地指定（使用収益開始）通知書作成、整備工事など（都市再生機構）	248,085,264円												
補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費	156,186,638円												
3 事業成果														
<p>整備工事を行うことで、仮換地の使用収益開始をすることができ、加えて、建物等移転補償を行うことで、翌年度以降の整備工事を推進することができた。</p> <p>また、鉄道の仮線に必要な用地の建物等移転補償を行うことで、鉄道高架事業に必要な用地を早期に確保することができた。</p>														

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	
	事業名	街路費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	21,775,140 円 (△208,519 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	464,231 円	0 円	0 円	0 円	21,310,909 円
主管	市民一人当たり の決算額	316 円 (一般財源等ベース 309 円)		単位決算額	1,675,011 円 (都市計画道路 13 路線)		
都市 計画 課	1 事業目的 都市計画道路の除草や樹木の剪定及び防除などにより、道路環境を適正に維持し、緑と潤いを与えるとともに、通行車輛、歩行者の安全を確保する。						
	2 事業内容						
	(1) 街路管理費 都市計画道路の維持管理を行った。						
	ア 管理路線（13 路線） 助七西市場線、新清洲駅前線、鍋屋片町線、清須新川線、新川麒麟線、朝日阿原線、須ヶ口停車場線、小場塚新田線、大和町線、枇杷島小田井線、西枇杷島味鋤線、枇杷島停車場線及び枇杷島駅前通線						
	イ 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		光熱水費		344,423 円		
	委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務		18,019,540 円		
	工事請負費		街路樹取替工事など		471,900 円		
	(2) JR 枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備事業立替金償還費 JR 枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備に伴う都市再生機構による立替分を償還した。						
ア 償還期間 平成19年度から令和8年度まで							
イ 支払金額 52,276,433 円							
ウ 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
公有財産購入費		枇杷島駅前線整備事業償還元金及び償還利息		2,939,277 円			
3 事業成果 年間を通じて街路の適正な管理を行い、良好な道路環境を維持することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 鉄道高架費	
	事業名	新清洲駅付近鉄道高架費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	450,882,088 円 (△235,859,477 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		139,271,000 円	0 円	0 円	105,000,000 円	110,608,281 円	96,002,807 円
主管	市民一人当たり の決算額	6,541 円 (一般財源等ベース 1,393 円)		単位決算額			
新清洲駅 周辺まちづくり課	1 事業目的						
	<p>五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架替えに同調し、国道302号、県道名古屋祖父江線等の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を相互協力していくため、国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市で確認書を取り交わした。確認書に基づき仮線用地等を確保することで、鉄道高架事業を推進する。</p>						
	2 事業内容						
	(1) 事業用地管理費 取得した用地の管理を行った。						
	(2) 鉄道高架整備費 鉄道高架事業の仮線用地となる区画整理地区内の土地や駅南部の付替市道用地について、用地買収を行った。また、汚水管の移設設計等を行った。						
	ア 主な支出科目						
			区 分	内 容		事業費	
			役務費	不動産鑑定、登記手数料		467,269 円	
			委託料	物件調査（再算定）、汚水管移設設計等		23,606,060 円	
			公有財産購入費	仮線、仮駅舎及び付替市道用地購入		17,667,512 円	
		補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費		100,827,133 円		
イ 事業進捗状況							
		区 分	全体計画	実績 (令和4年度末)	進捗率		
		用地確保面積	3,807.45㎡	1,561.44㎡	41.0%		
(3) 西市場廻間線等整備費							
<p>将来整備する都市計画道路及び緑地地内において、仮線となる土地について用地買収を行った。</p>							
ア 主な支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		役務費	不動産鑑定、登記手数料		4,178,022 円		
		委託料	物件調査（再算定）、用地交渉支援		19,444,931 円		
		公有財産購入費	都市計画道路等（仮線）用地購入		95,874,475 円		
		補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費		137,166,013 円		

イ 事業進捗状況

区 分	全体計画	実績 (令和4年度末)	進捗率
用地取得面積	5,610.54㎡	3,505.57㎡	62.5%

(4) 下本町丸之内線等整備費

将来整備する道路地内において、仮線となる土地について用地買収を行った。

ア 主な支出科目

区 分	内 容	事業費
役務費	登記手数料	459,657 円
委託料	物件調査（再算定）、用地交渉支援	14,116,069 円
公有財産購入費	道路（仮線）用地購入	7,287,496 円
補償、補填及び 賠償金	建物等移転補償費	28,367,788 円

イ 事業進捗状況

区 分	全体計画	実績 (令和4年度末)	進捗率
用地取得面積	3,068.78㎡	1,289.06㎡	42.0%

3 事業成果

鉄道高架事業着手のため、年度計画に沿って仮線用地を確保することで、限度額立体交差事業を構成する各事業を進捗することができた。

また、将来整備する都市計画道路、緑地及び市道の用地を確保することができた。

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 鉄道高架費	
	事業名	繰越明許費繰越事業					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	240,260,440円 (-)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		81,521,000円	0円	0円	146,000,000円	12,739,440円	0円
主管	市民一人当たりの決算額	3,485円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額			
新清洲駅周辺まちづくり課	1 事業目的						
	<p>五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架替えに同調し、国道302号、県道名古屋祖父江線等の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を相互協力していくため、国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市で確認書を取り交わした。確認書に基づき仮線用地等を確保することで、鉄道高架事業を推進する。</p>						
	2 事業内容						
	(1) 西市場廻間線等整備費						
	<p>将来整備する都市計画道路及び緑地地内において、仮線用地となる土地について、用地買収を行った。</p>						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	委託料		土地評価（再評価）		1,844,700円		
	公有財産購入費		都市計画道路等（仮線）用地購入		21,363,721円		
	補償、補填及び賠償金		建物等移転補償費		135,443,411円		
(2) 下本町丸之内線等整備費							
<p>将来整備する道路地内において、仮線用地となる土地について、用地買収を行った。</p>							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
委託料		土地評価（再評価）		2,445,300円			
公有財産購入費		道路（仮線）用地購入		17,083,138円			
補償、補填及び賠償金		建物等移転補償費		62,080,170円			
3 事業成果							
<p>鉄道高架事業着手のため、年度計画に沿った仮線用地を確保することで、限度額立体交差事業を構成する各事業を進捗することができた。</p>							
<p>また、将来整備する都市計画道路、緑地及び市道としての用地を確保することができた。</p>							

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	05 公共下水道費	
	事業名	流域下水道関連施設費							
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳							
	5,641,124円 (△179,026円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0円	857,150円	0円	0円	0円	4,783,974円		
主管	市民一人当たりの決算額	82円 (一般財源等ベース 69円)		単位決算額	6,138円 (利用件数 919件)				
上 下 水 道 課	1 事業目的 新川西部浄化センター内の緩衝緑地及び水の交流ステーションの適正な維持管理を行い、親しみやすい施設を確保する。								
	2 事業内容 環境整備事業で建設された新川西部浄化センター緑地及び水の交流ステーションの維持管理を行った。								
	(1) 利用件数								
	区 分					延べ利用件数			
	研修室 (1階)					526 件			
	多目的ホール (2階)					393 件			
	合 計					919 件			
	(2) 主な支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	需用費			消耗品費			34,283 円		
光熱水費				1,132,247 円					
委託料			保守点検業務			126,500 円			
			水の交流ステーション管理等業務			4,203,256 円			
3 事業成果 緩衝緑地及び水の交流ステーションを適正に維持管理することにより、親しみやすい施設を提供することができた。									

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	06 都市下水路費	
	事業名	都市下水路等費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	12,491,213 円 (△29,846,895 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	45,186 円	12,446,027 円
主管	市民一人当たりの決算額	181 円 (一般財源等ベース 181 円)		単位決算額			
上 下 水 道 課	1 事業目的 浸水被害の解消を図るため、ポンプ場、雨水管渠の管理、整備を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。						
	2 事業内容						
	(1) 都市下水路等管理費 ポンプ場（5か所）、雨水管渠を維持管理するため、保守点検業務及び浚渫工事などを行った。						
	ア 主な支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		消耗品費		1,647 円		
			光熱水費		3,563,163 円		
	委託料		清掃業務など		1,435,658 円		
			保守点検業務など		5,017,166 円		
			電気設備保安管理業務など		1,065,460 円		
工事請負費		浚渫工事		1,050,500 円			
3 事業成果 ポンプ場、雨水管渠を適正に管理することにより、水害に強い安全で安心なまちづくりを進めることができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	07 公園費		
	事業名	都市公園費						
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳						
	124,169,460 円 (△37,784,197 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
		15,000,000 円	118,116 円	0 円	0 円	0 円	109,051,344 円	
主管	市民一人当たりの決算額	1,801 円 (一般財源等ベース 1,582 円)		単位決算額	1,970,944 円 (都市公園 63 か所)			
都市 計 画 課	1 事業目的 地域住民の余暇活動や良好な住環境の形成に資するため、公園や緑地の維持管理や整備を行い、市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての快適な都市環境を提供する。							
	2 事業内容							
	(1) 都市公園管理費 利用者が安心して利用できるよう、遊具などの公園施設の維持管理を行った。							
	ア 都市公園（63 か所）							
	西枇杷島地区		清洲地区		新川地区		春日地区	
	12 か所		15 か所		28 か所		8 か所	
	イ 支出科目							
	区 分		内 容			事業費		
	需用費		消耗品費			197,853 円		
			光熱水費			2,770,110 円		
修繕料			1,095,050 円					
役務費		し尿汲取手数料など			2,602,740 円			
委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務			76,243,760 円			
		遊具及び浄化槽などの保守業務			5,348,200 円			
		出水対策業務など			793,100 円			
使用料及び賃借料		リバーランド排水管			9,562 円			
工事請負費		遊具修繕工事など			1,892,825 円			
(2) 都市公園整備費 公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助を用いて、老朽化した公園施設の改築更新などの工事を行うとともに、老朽化している藤棚の塗装工事などを行った。								
ア 支出科目								
区 分		内 容			事業費			
委託料		設計積算業務			3,300,000 円			
工事請負費		公園施設改築更新工事、藤棚塗装工事など			29,916,260 円			
3 事業成果 市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての都市公園の維持管理や整備を行うことにより、快適な都市環境を提供することができた。								

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	07 公園費	
	事業名	児童遊園等費					
	決算額 (前年度比)	財 源 内 訳					
	33,929,015 円 (+715,711 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	33,929,015 円
主管	市民一人当たりの決算額	492 円 (一般財源等ベース 492 円)		単位決算額	807,834 円 (児童遊園等 42 か所)		
都市 計 画 課	1 事業目的 児童遊園・ちびっこ広場を除草清掃、樹木の剪定などにより、適正に維持管理し、安全、安心及び快適な環境を提供する。						
	2 事業内容						
	(1) 児童遊園等管理費						
	児童遊園・ちびっこ広場を適正に維持管理するため、除草及び清掃を実施した。						
	また、樹木の剪定、防除や遊具などの保守点検を定期的実施した。						
	ア 児童遊園・ちびっこ広場（42 か所）						
			区 分	児童遊園	ちびっこ広場	合 計	
			西枇杷島地区	0 か所	11 か所	11 か所	
			清洲地区	3 か所	8 か所	11 か所	
			新川地区	0 か所	6 か所	6 か所	
		春日地区	11 か所	3 か所	14 か所		
		合 計	14 か所	28 か所	42 か所		
イ 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
需用費		消耗品費		110,733 円			
		光熱水費		409,141 円			
		修繕料		594,880 円			
役務費		し尿汲取り手数料など		384,780 円			
委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務		9,757,820 円			
		遊具及び浄化槽の保守業務		2,448,600 円			
使用料及び賃借料		児童遊園等土地借地料		18,848,061 円			
工事請負費		フェンス設置及び東屋修繕工事		1,375,000 円			
3 事業成果							
児童遊園・ちびっこ広場を適正に維持管理することで、安全、安心及び快適な環境を提供することができた。							